

注3

大学番号：私065

[平成25年度設置]

計画の区分：届出

注1

届出

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 フクシユニン ミズノ マサミチ
副主任 水野 真修

電話番号 0944-89-2000

（夜間） 090-7535-6057

F A X 0944-89-2001

e-mail mizuno@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	3
2 授業科目の概要	7
3 施設・設備の整備状況, 経費	12
4 既設大学等の状況	13
5 教員組織の状況	17
6 留意事項に対する履行状況等	26
7 その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒831-8501
 福岡県大川市榎津137-1
 (〒324-8501)
 (栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(キタジマ マサキ) 北島 正樹 (平成21年7月)		
学部長	(カナイデ ヒデオ) 金出 英夫 (平成23年4月)	(ツジ サダトシ) 辻 貞俊 (平成25年4月)	金出学部長が平成25年4月より副学長兼学部長から副学長へ就任したことに伴う
学科長等	(ツジ マサトシ) 辻 正俊 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成 2 3 年度に報告済の内容 → (23)
 平成 2 5 年度に報告する内容 → (25)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡保健医療学部 医学検査学科 学士(医学検査学)	4年	80人	—年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (—) [—]								1.47倍	
志願者数	437 (—) [—]	0 (—) [—]								
受験者数	436 (—) [—]	0 (—) [—]								
合格者数	188 (—) [—]	0 (—) [—]								
B 入学者数	118 (—) [—]	0 (—) [—]								
入学定員超過率 B/A	1.47									

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。

- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 118	[-] —	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[-] 118	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注)
- ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	118 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	118 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<福岡保健医療学部 医学検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合教育科目	文学	1前		2								兼1		
	演劇論	未開講 -1前		2								兼1	担当教員辞職のため後任を模索中(25)	
	心理学	1後		2								兼1		
	人間学	未開講 -1前後		2								兼1	担当教員辞職のため後任を模索中(25)	
	文化人類学	1前 -1前後		2								兼1	教育効果を考慮し開講学期を変更(25)	
	教育学	1後		2								兼1		
	死生学概論	1前		2								兼1		
	社会科学系	社会学	1前 -1後		2								兼1	教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
		組織運営管理論	1前		2								兼1	
		国際医療福祉論	1後 -1前		2								兼8	教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
		社会保障制度論	1後	2									兼1	
		ボランティア論	1後		2								兼2	
		世界遺産と国際文化政策	1前		2								兼1	
		経済学	1後 -1前		2								兼1	教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
	自然・情報科学系	統計学の基礎	2後		2								兼1	
		自然科学入門(化学、物理学の基礎)	1前		2								兼1	
		人体の物理学	1後		2								兼1	
		生物学	1後		2								兼1	
		情報科学入門	1前	2									兼1	
		生命倫理	1後		2								兼1	
医学/医療史		1前 -1後		2								兼6	教育効果を考慮し開講学期を変更(25)	
総合系	まなび学(大学入門講座)	1前	2									兼28		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
外国語系	医学英語	1通	2								兼1	TOEIC、TOEFL、英検等、客観的英語能力を評価の対象に加えたことにより科目を追加(25)		
	英会話	1前	1								兼1			
	中国語	1通		2							兼1			
	韓国語	1通		2							兼1			
	実用英会話	2前		1							兼1			
	実用中国語会話	2前		1							兼1			
	実用韓国語会話	2前		1							兼1			
	資格英語1(Primary)	1前			1						兼1			
	資格英語2(Basic)	1後			1						兼1			
	TOEIC、TOEFL、英検等、客観的英語能力を評価の対象に加えたことにより科目を追加(25)													
保健体育系	健康科学理論	1後		2							兼1	卒業後の臨床工学技士資格の取得に関する科目を追加(25)		
	健康科学実践	1後			1						兼1			
専門基礎科目	生命科学の構造と機能・人	生化学	1通	2			1					兼1 兼1		
		生化学実習	1後	1			1							
		解剖学	1通	2			1							
		肉眼解剖学実習	1後	1			1							
		一般生理学	1前	1										
		人体機能生理学	1後	1										
		分析化学	1前		1		1							
		医学検査の基礎と疾病の理解	内科学(血液学,免疫学,診断学を含む)	2通	2			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
			神経学(臨床神経生理学を含む)	2通	2			1						
			臨床医学概論	1前				1						
	老年学		2前		1									
	小児科学		2後		1									
	精神医学		2前		1									
	リハビリテーション医学		1後		1									
	救急医学		1後		1									
	遺伝学		1前 1後		1		4		1					
	薬理学		1後 1前		1		1							
	栄養学	1後 1前		1										
	保健医療福祉と医学検査	公衆衛生学	2後	1								兼1		
		保健医療福祉制度論	1前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
医療工学・情報科学	数学（基礎・応用）	1前	1									兼1		
	医用工学・情報概論	1後	1						1			兼1	教育内容により適した教員に変更(25)	
	医用工学・情報実習	2前	1						1			兼1	教育内容により適した教員に変更(25)	
	特別科目	海外保健福祉事情	2前	2			4					兼14		
	関連職種連携論	2後	2			1						兼5		
	関連職種連携ワーク	3後	1			1						兼5		
	関連職種連携実習	4前		1		1						兼5		
	形態検査学	病理検査学	1前 -1後	1			1							教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
		病理検査学実習Ⅰ(基礎)	2前	1			1							
		病理検査学実習Ⅱ(応用)	3前	2			1							
細胞診断検査学		2後	1			1								
細胞検査学演習Ⅰ(基礎)		3前	1			1								
細胞検査学演習Ⅱ(応用)		3前	1			1								
血液形態検査学		1前 -1後	1			1							教育効果を考慮し開講学期を変更(25)	
血液形態検査学実習		2前	1			1								
一般検査学Ⅱ(形態)		2前	1			+	1						就任辞退に伴う担当教員の変更(25)	
一般検査学Ⅱ実習(形態)		2後	1			+	1						就任辞退に伴う担当教員の変更(25)	
生物化学分析検査学	一般検査学Ⅰ(生物化学分析)	1前 -1後	1				1	+					就任辞退に伴う担当教員の変更及び教育効果を考慮し開講学期を変更(25)	
	一般検査学Ⅰ実習(生物化学分析)	2前	1				1	+						
	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	1後	1			1		+					就任辞退に伴う担当教員の変更(25)	
	臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2前	1			1								
	臨床化学検査学実習	3前	1			1								
	放射性同位元素検査技術学	3前	1			1								
	放射性同位元素検査技術学実習	3前	1			1								
	止血検査学	2後	1						1					
	止血検査学実習	3前	1						1					
	遺伝子検査学	2後	1			1								
遺伝子検査学実習	3前	1			1									
病因・生体防御検査学	微生物学	1通	2			1								
	微生物学実習	2前	2			1								
	寄生虫検査学	3前	1			1								
	感染制御学	3前	1			1								
	免疫検査学	1後	1			1								
	免疫検査学実習	2前	1			1								
	輸血・移植検査学	2後	1						1					
	輸血・移植検査学実習	3前	1						1					
	遺伝子工学	3後	1			1								
バイオテクノロジー演習	3前		1		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
生理機能検査学	生理検査学Ⅰ（総論）	1後	1			1					兼1 兼1 就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	生理検査学Ⅱ（各論）	2前	1				1				
	生理検査学実習	2後	2				1				
	画像検査学Ⅰ（総論）	3前	1								
	画像検査学Ⅱ（各論）	3前	1								
	救急処置法	1後		1		+	1				
検査総合管理学	検査学入門	1前	1			+	1				就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	精度管理学	3前	1			+	1				就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	検査機器・医用機器学総論	3後	1			+	1				就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	検査情報システム学	4前	1			+	1				就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	検査管理運営学	4前	1			+	1				就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
臨床検査学	臨床検査医学総論	3前	1			1					兼1 兼1 兼1
	臨床診断学	3前	1			1					
	機能組織学	3前	1								
	超音波検査学演習Ⅰ（基礎）	3前	1								
	超音波検査学演習Ⅱ（応用）	3前	1								
	MRI検査学演習	3前		1				1			
食品化学	食品衛生学	4前		2		1					
	健康食品学	4前		2		1					
	食品衛生管理学	4前		1		1					
	食品関係法規	4前		1		1					
	食品学	4前		1		1					
特別科目	薬物治療学	4前		1		1					兼1 就任辞退に伴う担当教員の変更(25) 就任辞退に伴う担当教員の変更(25) 就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	薬物動態論	4前		1		1					
	治験学概論	4前		1		1					
	医学検査特論Ⅰ（応用）	4後	2			4				2	
	医学検査特論Ⅱ（発展）	4後	4			4		2	1	+	
	臨地実習	3後	7			4		2	1	+	
	卒業研究	4後		4		7		2	1	+	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
71	46	0	117	71	46	3	120	
				[0]	[0]	[3]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	演劇論	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員が辞職し、代替教員を探したが見つからず、開講できなかった。
2	人間学	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員が辞職し、代替教員を探したが見つからず、開講できなかった。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、総合教育科目（一般教養科目）の選択科目であり、進級条件や卒業条件に影響はない。しかしながら、当該科目の受講を希望する学生がいること、また、本学として教育上必要な科目と認識しているため、引き続き後任を模索し、次学期の開講に向けて努力したい。学生へは、学内掲示板、電子掲示板等への掲載により周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	166,067.48㎡	0㎡	0㎡	166,067.48㎡			
	運動場用地	76,402.74㎡	0㎡	0㎡	76,402.74㎡			
	小 計	242,470.22㎡	0㎡	0㎡	242,470.22㎡			
	そ の 他	118,539.00㎡	0㎡	0㎡	118,539.00㎡			
	合 計	496,693.00㎡	0㎡	0㎡	496,693.00㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	医学検査学科専用		
	8 室	2 室	4 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			医学検査学科専用		
	福岡保健医療学部医学検査学科		17 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	福岡保健医療学部 医学検査学科	166,557 [12,010] (141457 [10,540])	1,437 [692] (2,389 [530])	2,628 [2,628] (2,628 [2,628])	2,173 (2,013)	88,500 (77,120)	1,127 (927)	
	計	166,557 [12,010] (141457 [10,540])	1,104 [614] (756 [376])	2,628 [2,628] (2,628 [2,628])	2,173 (2,013)	88,500 (77,120)	1,127 (927)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 医学検査学科専用はなし	
	5,739.91㎡		1,014		243,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 医学検査学科専用はなし	
	4,706.37㎡		弓道場		テニスコート6面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	医学検査学科のみ授業料を年額80万円に変更
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	20,000千円	5,000千円	
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,200,000千円	300,000千円	10,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,600 1,700千円	1,300 1,400千円	1,300 1,400千円	1,300 1,400千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
保健医療学部						1.27		栃木県 大田原市 北金丸 2600番1
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.28	平成7 年度	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学 療法 学)	1.29	平成7 年度	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業 療法 学)	1.27	平成7 年度	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語 聴覚 学)	1.24	平成7 年度	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機 能療 法 学)	1.25	平成14 年度	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射 線・情 報科 学)	1.300	平成7 年度	
医療福祉学部						1.16		
医療福祉・マネジメント学科	4	160	-	640	学士 (医療 福祉 学) (医療 マネ ジ メン ト 学)	1.16	平成20 年度	
薬学部						1.02		
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.02	平成18 年度	

大学の名称	国際医療福祉大学(つづき)							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
小田原保健医療学部						1.25		神奈川県 小田原市城山 一丁目2番25号
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.16	平成18 年度	
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学 療法 学)	1.38	平成18 年度	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業 療法 学)	1.26	平成18 年度	}
福岡看護学部						1.28		
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.28	平成20 年度	福岡市早良区百 道浜1-7-4
福岡保健医療学部						1.19		福岡県大川 市榎津137番 地1号
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学 療法 学)	1.17	平成17 年度	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業 療法 学)	1.21	平成17 年度	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語 聴覚 学)	1.13	平成19 年度	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学 検査 学)	1.48	平成25 年度	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定 学 員 人	編入 学 員 年 次 人	取 定 容 員 人	学位 又 は 称 号	定 員 超 過 率 倍	開 設 年 度	所 在 地
医療福祉学研究科						1.15		栃木県 大田原市 北金丸 2600番1
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学)、 修士 (看護学)、 修士 (医療福祉)	1.19	平成11年度	
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉)、 修士 (診療情報管理学)、 修士 (医療ビジネス経営学)	0.87	平成13年度	
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学)、 博士 (看護学)、 博士 (助産学)、 博士 (医療福祉経営学)、 博士 (医療福祉学)、 博士 (診療情報管理学)、 博士 (医療福祉心理学)	1.24	平成13年度	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院(つづき)							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地
薬科学研究科 修士課程生命薬 科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科 学)	0.10 0.10	平成22 年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1
薬学研究科 博士課程医療・ 生命薬科学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.30 1.30	平成24 年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の
上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してく
ださい。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の
平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置
している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成
〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<福岡保健医療学部 医学検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	辻 貞俊 (65)	平成25年4月	神経学(臨床神経生理学を含む) 臨床医学概論 海外保健福祉事情 生理検査学Ⅰ(総論) 医学検査特論Ⅰ(応用) 卒業研究			変更なし			
専	教授	恒吉 正澄 (67)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 病理検査学 一般検査学Ⅱ(形態) 一般検査学Ⅱ実習(形態) 救急処置法 検査学入門 精度管理学 検査機器・医用機器学総論 検査情報システム学 検査管理運営学 医学検査特論Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	兼任	講師	山崎 文朗 (46)	平成25年4月	病理検査学	就任辞退に伴う教員の変更(25)
					専	准教授	大田 嘉孝 (60)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 一般検査学Ⅱ(形態) 一般検査学Ⅱ実習(形態) 救急処置法 検査学入門 精度管理学 検査機器・医用機器学総論 検査情報システム学 検査管理運営学 医学検査特論Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	就任辞退に伴う教員の変更(25)
専	教授	宇治 義則 (60)	平成25年4月	生化学 生化学実習 分析化学 海外保健福祉事情 放射性同位元素検査技術学 放射性同位元素検査技術学実習 臨床検査医学総論 臨床診断学 医学検査特論Ⅰ(応用) 医学検査特論Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究			変更なし			
専	教授	小坂 克子 (58)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 解剖学 肉眼解剖学実習 医学検査特論Ⅰ(応用) 卒業研究			変更なし			

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	佐藤 信也 (55)	平成26年4月			変更なし			
								海外保健福祉事情 病理検査学実習 I (基礎) 病理検査学実習 II (応用) 細胞診断検査学 細胞検査学演習 I (基礎) 細胞検査学演習 II (応用) 健康食品学 食品関係法規 食品学 医学検査特論 II (発展) 臨地実習 卒業研究	
専	教授	永沢 善三 (53)	平成25年4月	専	教授	永沢 善三 (53)	平成25年4月	海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 微生物学 微生物学実習 寄生虫検査学 感染制御学 免疫検査学 薬物動態論 医学検査特論 臨地実習 卒業研究	
				専	教授	福島 伯泰 (44)	平成25年4月	免疫検査学	教育内容からより適切な教員へ担当を変更(25)
専	教授	山崎 文朗 (46)	平成26年4月			変更なし			
								遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 遺伝子工学 バイオテクノロジー演習 食品衛生学 食品衛生管理学 薬物治療学 治験学概論 医学検査特論 II (発展) 臨地実習 卒業研究	
専	教授	福島 伯泰 (44)	平成25年4月	専	教授	福島 伯泰 (44)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 内科学(血液学,免疫学,診断学を含む) 薬理学 血液形態検査学 血液形態検査学実習 臨床化学検査学 II (各論) 臨床化学検査学実習 免疫検査学実習 医学検査特論 I (応用) 卒業研究	
				専	講師	佐藤 謙一 (39)	平成25年4月	遺伝学	負担軽減の観点から担当を変更(25)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	准教授	片山 雅史 (50)	平成26年4月			変更なし			
専	講師	松田 順子 (53)	平成25年4月		専 准教授	大田 嘉孝 (60)	平成25年4月	一般検査学Ⅰ (生物化学分析) 一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	就任辞退に伴う教員の変更 (25)
					専 教授	宇治 義則 (60)	平成25年4月	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	
					専 講師	佐藤 謙一 (39)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 医学検査特論Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	
専	講師	竹ノ内 博之 (44)	平成26年4月			変更なし			
専	助教	坂梨 史典 (34)	平成25年4月	専	助教	小山 晃英 (29)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 医学検査特論Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	就任辞退に伴う教員の変更 (25)
兼任	教授	後藤 純信 (52)	平成25年4月		兼任 教授	後藤 純信 (52)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 救急医学 関連職種連携 論 関連職種連携 ワーク 関連職種連携 実習 医学検査特論Ⅰ(応用)	教育内容からより適切な教員 へ担当を変更(25)
					専 講師	佐藤 謙一 (39)	平成25年4月	医工学・情報概論 医工学・情報実習	

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
8	1	2	1	12	7	2	2	1	12	65	1
(6)	(0)	(1)	(1)	(8)	[△1]	[1]	[0]	[0]	[0]	歳	名

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	副学長 学部長 教授	金出 英夫 (70)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 公衆衛生学		副学長 教授				
兼任	教授	杉森 甫 (79)	平成25年4月	健康科学理論			変更なし			
兼任	教授	大熊 由紀子 (72)	平成25年4月	ボランティア論			変更なし			
兼任	教授	佐藤 禎一 (71)	平成25年4月	世界遺産と国際文化政策			変更なし			
兼任	教授	齊場 三十四 (70)	平成25年4月	社会学 保健医療福祉制度論 関連職種連携論			変更なし			
兼任	教授	石橋 大海 (67)	平成27年4月	超音波検査学演習Ⅰ(基礎) 超音波検査学演習Ⅱ(応用)			変更なし			
兼任	教授	鹿島 晴雄 (67)	平成25年4月	人間学			後任未定			辞職に伴い後任を模索中(25)
兼任	教授	藤田 郁代 (67)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	教授	佐々木 淳 (66)	平成25年4月	老年学			変更なし			
兼任	教授	古川一昭人 (64)	平成25年4月	海外保健福祉事情	兼任	教授	原口 健三 (54)	平成25年4月	海外保健福祉事情	退職に伴う変更(25)
兼任	教授	濱本 邦洋 (63)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 小児科学 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	教授	原 富英 (62)	平成25年4月	精神医学			変更なし			
兼任	教授	深浦 順一 (62)	平成25年4月	海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	教授	藤城 直二 (62)	平成25年4月	生物学 一般生理学 人体機能生理学 海外保健福祉事情			変更なし			

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	奈良一進弘 (59)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	兼任	講師	新川 寿子 (46)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	退職に伴う変更(25)
兼任	教授	宇都宮 英綱 (58)	平成27年4月	画像検査学Ⅰ(総論) 画像検査学Ⅱ(応用)			変更なし			
兼任	教授	黒澤 和生 (55)	平成25年4月	医学/医療史 まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習			変更なし			
兼任	教授	高橋 泰 (54)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	教授	北村 義浩 (52)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	准教授	安立 多恵子 (58)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習			変更なし			
兼任	准教授	藤田 亘 (57)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	准教授	陳 霞雰 (56)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	准教授	為数 哲司 (53)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	准教授	村松 由紀 (51)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	准教授	加藤 尚子 (49)	平成25年4月	文化人類学			変更なし			
兼任	准教授	日田 勝子 (49)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	准教授	丹羽 敦 (48)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	安本 誠 (47)	平成25年4月	統計学の基礎 自然科学入門 (化学、物理学の基礎) 人体の物理学 まなび学(大学入門講座) 情報科学入門 数学(基礎・応用)	兼任	准教授	安本 誠 (47)	平成25年4月	統計学の基礎 自然科学入門 (化学、物理学の基礎) 人体の物理学 まなび学(大学入門講座) 情報科学入門	負担軽減の観点から変更(25)
					兼任	講師	後藤 和彦 (25)	平成25年4月	数学(基礎・応用)	
兼任	准教授	金子 秀雄 (44)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	准教授	岡村 世里奈 (42)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	准教授	今野 広紀 (41)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	講師	永井 あけみ (60)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	講師	岩崎 裕子 (51)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	平島 ユイ子 (51)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	石橋 英恵 (50)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	講師	樋本 まゆみ (50)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	講師	江口 雅彦 (47)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	徳江 武 (45)	平成25年4月	医学英語 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	講師	多賀 誠 (44)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	室井 健三 (44)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	講師	裕田 憲亮 (43)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	中原 雅美 (41)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	永井 良治 (39)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習			変更なし			
兼任	講師	義田 俊之 (38)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	講師	大石 剛史 (37)	平成25年4月	ボランティア論			変更なし			

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	石本一豪 (35)	平成25年4月	心理学	兼任	教授	小牧 元 (61)	平成25年4月	心理学	担当を変更(25)
兼任	助教	長谷 麻由 (41)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	助教	難波 雄 (40)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	助教	岡本 龍児 (39)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座) 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	助教	岡 真一郎 (37)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	助教	久保下一亮 (37)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)						退職に伴う削除。本科目は担当教員全体で分担するため後任は不補充(25)
兼任	助教	川崎 東太 (36)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	助教	池田 拓郎 (35)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	助教	下田 武良 (33)	平成25年4月	まなび学(大学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	大場 建治 (81)	平成25年4月	文学			変更なし			
兼任	講師	青木一清 (75)	平成25年4月	生命倫理	兼任	教授	小牧 元 (61)	平成25年4月	生命倫理	担当を変更(25)
兼任	講師	杉原 甫 (74)	平成25年4月	機能組織学			変更なし			
兼任	講師	三浦一浩子 (71)	平成25年4月	栄養学	兼任	講師	尾崎 加奈 (34)	平成25年4月	栄養学	就任辞退に伴う変更(25)
兼任	講師	奥野 徹子 (70)	平成25年4月	リハビリテーション医学			変更なし			
兼任	講師	岩尾 総一郎 (65)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	講師	岡本一章 (63)	平成25年4月	演劇論			後任未定			辞職に伴い後任を模索中(25)
兼任	講師	中山 幸治 (63)	平成25年4月	組織運営管理論			変更なし			
兼任	講師	小野 充一 (60)	平成25年4月	死生学概論			変更なし			
兼任	講師	三柴 恵美子 (59)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	講師	渡邊 弘 (57)	平成25年4月	教育学			変更なし			
兼任	講師	Patricia Flores (55)	平成25年4月	実用英会話			変更なし			
兼任	講師	趙 淑範 (52)	平成25年4月	中国語 実用中国語会話			変更なし			

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	松石一達彦 (43)	平成25年4月	経済学	兼任	教授	菊池 哲郎 (65)	平成25年4月	経済学	辞任に伴う変更(25)
兼任	講師	李 錦東 (41)	平成25年4月	韓国語 実用韓国語会 話			変更なし			
兼任	講師	岩坪 泰代 (34)	平成25年4月	社会保障制度 論			変更なし			
兼任	講師	Matthew Potts (33)	平成25年4月	英会話			変更なし			

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	恒吉 正澄	就任辞退：現勤務先における業務都合のため
2	講師	松田 順子	就任辞退：現勤務先における業務都合のため
3	助教	坂梨 史典	就任辞退：現勤務先における業務都合のため

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記3名専任教員予定者は、臨床に即した人材を育成する上での適任者として就任する予定であったが、現職場における予想外の離職者の発生等により、本学への就任が不可能になったものであり、やむを得ない理由によるものと判断した。なお、開学前の就任辞退でもあり、学生へは周知していない。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																				
設 置 時 (24年9月)	・小田原保健医療学部理学療法学科の定員超過の是正に努めること。	・入学者推移 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学定員</td> <td>40人</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>96人</td> <td>87人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>58人</td> <td>51人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>定員超過率</td> <td>1.45倍</td> <td>1.28倍</td> <td>1.28倍</td> </tr> </tbody> </table> ・平成24年度及び平成25年度は歩留を考慮して合格者数を減らし、定員超過率の改善に努めました。今後も改善に努力いたします。		23年度	24年度	25年度	入学定員	40人	40人	40人	合格者数	96人	87人	82人	入学者数	58人	51人	51人	定員超過率	1.45倍	1.28倍	1.28倍	
	23年度	24年度	25年度																				
入学定員	40人	40人	40人																				
合格者数	96人	87人	82人																				
入学者数	58人	51人	51人																				
定員超過率	1.45倍	1.28倍	1.28倍																				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)																							
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)																							
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)																							

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<福岡保健医療学部 医学検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目100単位, 選択科目24単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室8室 (1,110.76㎡)</p> <p>b 学生ラウンジ1室 (276.88㎡)</p> <p>c 図書26,097冊 (福岡保健医療学部全体、完成時)</p>	<p>① 必修、選択に変更なし。「2 授業科目の概要」に記載済みだが、「健康科学実践 (1単位・自由)」、「資格英語 1 (Primary) (1単位・自由)」、「資格英語 2 (Basic) (1単位・自由)」をそれぞれ追加。「健康科学実践」は卒業後に臨床工学技士養成校1年過程への入学資格を十分満たすことができるよう学生に配慮するために設けた。「資格英語」の2科目は大学全体の方針として外国語の検定等を重視することから追加した。</p> <p>② 当初の予定から変更なし</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学福岡保健医療学部FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 年2～5回実施、委員は各学科、所属から選出。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会の計画、立案、実施 ・ 月例教員会議の際の各教員持ち回り発表の調整 ・ 大学全体のFD研修会との企画調整 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①FD研修会 (年1回) ②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ①FD研修会
--

外部から講師を招聘し、毎年GPAやポートフォリオなどテーマを決めて、講演会を実施。
②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表
月例の教員会議の際、各教員持ち回りで各々の専門分野について相互レクチャーを行い、
教員同士の相互理解の一助とする

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①FD研修会

年1回開催、専任教員全員参加

②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表

原則月1回開催、専任教員全員参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①ポートフォリオやキャップ制など教員にとって馴染みのない用語について理解できる

②各教員の専門分野を相互に理解することにより、専門職種以外の領域を理解し、
学生指導の一助につながる

③継続的FD活動の存在が各教員の授業に適度な緊張感を生み出し、授業内容を絶えず
刷新する動きにつながる事が期待できる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の授業の場合は15回目、通年の授業では30回目、半期の半期の授業では7回目の授業時に
授業評価アンケートを実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へはデータをフィードバック、学生等へはホームページや自己点検評価報告書で
集計結果を公表

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とし、平成7年に栃木県大田原市に開学した。

本学の基本理念は次の3つに要約される。(1) 人間中心の大学であること(2) 社会に開かれた大学であること(3) 国際性を目指した大学であること。また、教育理念として「人間形成」「専門性」「学際性」「情報科学技術」「国際性」「自由な発想」「新しい大学運営」の7つを掲げ、21世紀の高齢化社会を踏まえて、高度で専門的な知識を有し、かつ総合的に医療福祉を把握しうる専門職の育成を目指して開学した。

当初は保健学部5学科(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、放射線・情報科学科)でスタートしたが、医学検査学科が開設した平成25年4月現在、全国に4つのキャンパス、6つの学部、16の学科を有する総合大学へと成長した。

本学は早い段階から大学院教育を重視してきた。平成11年4月、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻(修士課程)を設置し、以後、博士課程や薬学研究科など、3つの研究科と5つの専攻を有する規模にまで成長している。また、全国6か所のキャンパスのどこにいても授業を受けることができるよう、双方向テレビ会議システムを大学院教育に導入し、社会人中心の大学院生に便宜を図っている。

また、実習のための附属病院を整備しており、現在では4つの附属病院を有している。グループ内関連施設病院・施設を全国に有しており、各キャンパスの学生の実習施設としても機能している。

こうした中、平成25年4月に本学福岡保健医療学部医学検査学科が入学定員80名、収容定員320名で開設した。開設して2か月弱の段階での総括評価は困難であるが、開設初年度から437名の志願者を集めたことは評価に値すると思われる。「設置の趣旨と理由」の中の学生募集の見通しでも述べているが、平成24年度入試において、山口大学医学部保健学科検査技術科学専攻が6.03倍、九州大学医学部保健学科検査技術科学専攻が2.29倍、熊本大学医学部保健学科が5.08倍、純真学園大学保健医療学部検査科学科が3.07倍、熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科が3.95倍であったことを考えると、入学定員80名に対し437名の志願者で5.46倍の競争率に至ったことは、社会からの一定の評価の表れであり、建学以来の本学の歩みが間違っていなかったことの表れと自負できる。

今後は社会の期待を裏切らないよう、1期生全員が国家試験に全員合格できるように気持ちを引き締めて学生の指導にありたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成27年3月30日頃公表予定(2013年度版)
- ※平成26年度中に受ける認証評価報告書を兼ねる。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(平成27年3月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に財団法人日本高等教育評価機構の認証評価(平成19年度に続いて2回目)を受けるべく学内で準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成25年 5月 31日頃)